

印西大師 手引鏡（明治4年）掲載札所の番号付定について

手引鏡（明治4年3月「印西大師 印西八十八ヶ所手引鏡」斎藤正巳家所蔵文書 印旛村史 近代資料集Ⅱ所収）に掲載されている札所について、便宜的に整理番号を付しました。

まず、現在の印西大師第1番から第89番の番号のついた札所については、そのまま第1番から第89番を付定しました。

次に、手引鏡に△印で表示されている掛所（番外札所）については、和泉新田・真常寺を第101番とし、以下手引鏡の巡拝順に付定し、最後は亀成・東光院で第172番としました。

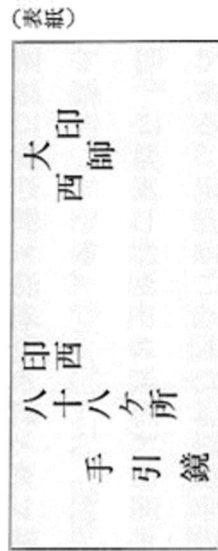
手引鏡では「掛所 七十一ヶ所」との記載がありますが、これは付定した整理番号第101～172番の番外札所のうち第140番は、第24番の願定院の境内にあったため別の霊場としてカウントしなかったのではないかと考えられます。

さらに、手引鏡で遷座済みの旧第13番の師戸・城ノ内堂（観音堂）は第173番、旧第38番の平賀・離島（花島山）は第174番、旧第77番の砂田・虚空蔵堂は第175番、旧第77番の白井新田・観音堂跡は第176番、旧第82番の笠神・原ノ堂は第177番を付定しました。また遷座が決まるも遷座されなかった「仲村」を第178番としました。なお同様に遷座が決まるも遷座されなかった「発作」は△印で表示されている掛所（番外札所）として第171番を付しています。

なお、「印旛村史 近代資料集Ⅱ」に収められている明治4年3月「印西大師 印西八十八ヶ所手引鏡」（斎藤正巳家所蔵文書）を掲載しましたが、他の書籍には、例えば、第7番 木下「かねこのとう（金戸の弥陀堂）」が、「かねこのとう（金戸ノ堂）」と、番外 山田「むかいほふ（迎坊）」が「むかいほう（向坊）」とあるなど、微妙に異なる記載が見受けられますが、大きな違いではないので、原則的に印旛村史 近代資料集Ⅱの記載を優先して使用しました。

印西大師 手引鏡 (明治4年) 掲載札所の番号付定

〔一〕 明治四年三月 印西大師手引き鏡



(表紙裏書・異筆)
八十二番

十三同	13	中木戸	173	師戸	しろのうち
七十七同	176	白井新田	175	砂田	こくぞうどう
三十八同	38	六軒	174	平賀	はなしま
三十五同	171	発作	35	中根	なみのどう
十八同	178	仲村	18	荒野	なぎのどう

此より前百五十一年享保六辛未年笠神村南陽院現住臨唱
法印、四国の霊場を北総印湖の西八十八ヶ所の香華院写、
南無大師遍照金剛を安置奉り、衆生再度の志願満足に、

諸人渴仰のかうへを傾け、歎喜の眉を開、随喜の泪顔黛の裙を沾す、幾回なくこの身遷化し玉へぬや、輪換に星移り、風俗頹敗し、霊場もところ／＼破壊し(不明)を天保起元庚寅の春、四世堅者孝祐法印先師の志願空しく朽果ん事を悼(興)みろ誘人と誓て再与し、月ヲ越日を累ね(重)霊験の有かたき事四方に輝き、おちこち人の賽に引きもきらす、御導知うち参台するは見るに忍ひす、痛心胸を焦し、道の記を著さんと、信者の友人ら集とへ逢ひ行程を踏ミ、辺路の里数を定め、順路にして逆なく小冊に綴り、梓て綴め博く公にせんと謀る、その誠心至り尽せり、大慈大師の影向に弘讃般若の雲もれて無明煩惱の眠りさまし、無量寿界の端書を宥弁々す事

天保起元	山田区	二宮道	珍
元世話人	セト邑	徳性院	
程	ハキハラ	飯田定兵衛	
	先	笠神区 南陽院	
	達	平賀区 来福寺	
		師戸区 広福寺	

07	30	104	43	08	103	59	31	102	101	04	03	15	05	01			
第七番	第三十番	△	第四十三番	第八番	△	第五十九番	第三十一番	△	△	第四番	第三番	第十五番	第五番	第一番			
同	同 きおろし (木下)	同	同	同	同	同 おふもり (大慈)	同 こしんてん (古新田)	同	同 いつみ新田 (和泉)	同 かぐろ (鹿黒)	同	同 いつみ (和泉)	同 おぐら (小倉)	踏 イツミヤ 若尾源兵衛	定	紙施也	カサガミ 篠塚弥左衛門

109	108	48	175	47	61	107	82	37	28	22	106	70	20	41	64	105	
△	△	第四十八番	第七十七番	第四十七番	第六十一番	△	第八十一番	第卅七番	第廿八番	第廿二番	△	第七十番	第二十番	第四十一番	第六十四番	△	
同	同 こはやし しんてん (小林新田)	同	同 すなた (砂田)	同 ものき (物木)	同 たぎ (滝)	同	同	同 こはやし (小林)	同	同 ひらおか (平岡)	同	同	同 べつしよ (別所)	同	同	同 たけふくろ (竹袋)	

44	118	177	71	117	116	83	115	114	113	112	111	110	84		
第四十四番	△	第八十二番	第七十一番	△	△	第八十三番	△	△	△	△	△	△	第八十四番		
同	同	同	同	同	かさかみ (空神)	おしつけ しんてん (押付新田)	いつみや しんてん (和泉屋新田)	しもそね しんてん (下會根新田)	しもい しんてん (下井新田)	さかなお しんてん (酒直新田)	しんてん (中田切新田)	なかつたきれ しんてん (中田切新田)	しんてん (將監新田)		
なんやういん (南陽院) 三十三間	みみとう (美々堂) 三十三間	はらのとう (原ノ堂) 一丁半六間	つちどう (辻堂) 三十七間	かいぎう寺 (海蔵寺) 三十七間	ちそうどう (地藏堂) 四丁廿四間	やくしとう (薬師堂) 二丁半廿間	みやのまい (宮ノ前) 六丁七間	くわんおんとう (観音堂) 五丁半七間	みたとう (弥陀堂) 八丁十四間	りうすい いん (竜水院) 二丁半廿間	はくさんとう (白山堂) 九丁半	ちそうとう (地藏堂) 六丁十七間	みつぞふいん (密藏院) 一丁三間		
.....															
123	78	02	57	06	18	39	21	45	35	14	85	122	121	120	119
△	第七十八番	第二番	第五十七番	第六番	第十八番	第卅九番	第二十一番	第四十五番	第三十五番	第十四番	第八十五番	△	△	△	△
同	同	同	はぎわら (萩原)	同	こうや (荒野)	同	りうふくじ (竜腹寺)	同	同	同	なかね (中根)	なかね しんてん (中根新田)	きようどく しんてん (行徳新田)	しもそね しんてん (下會根新田)	ふなとつゝみ (船戸堤) 三十三間
ねこやしき (猫屋敷) 十一丁十六間	くわんおんとう (観音堂) 二丁	りうせんいん (竜泉院) 三丁	けいしやう寺 (慶昌寺) 三十七間	あんらくいん (安楽院) 九丁六間	なぎのとう (名木ノ堂) 一丁廿間	りうふく寺 (竜腹寺) 七丁七間	ちそうとう (地藏堂) 二丁四間	とうぜん寺 (東漸寺) 九丁半廿間	なみのとう (浪ノ堂) 二丁廿三間	ふくしゆいん (福聚院) 六丁	くわんおんとう (観音堂) 二丁	みたとう (弥陀堂) 廿間	いなりとう (稲荷堂) 五丁半六間	大にちとう (大日堂) 三十三間	ふなとつゝみ (船戸堤) 三十三間

133	132	131	73	130	49	129	174	128	127	53	126	52	19	68	75	125	124
△	△	△	第七十三番	△	第四十九番	△	第卅八番	△	△	第五十三番	△	第五十二番	第十九番	第六十八番	第七十五番	△	△
同	(平賀) ひらか	同	同	同	同	(山田) やまた	(平賀) ひらか	(山田) やまた	同	同	同	同	同	(吉高) よしたか	(松虫) まつむし	同	(萩原新田) 同しんてん
にわうとう (仁王堂) 六丁六間	ふとうどう (不動堂) 三丁半七間	むかいほふ (迎坊) 十丁半	ゑんそう寺 (円藏寺) 三十三間	ふどういん (不動院) 三十三間	ゑんてん寺 (円天寺) 二十間	おふひろとう (大広堂) 三丁半十三間	はなれしま (離島) 十二丁半十間	にのみや (三ノ宮) 九丁	かふはたとう (広畑堂) 九丁半廿七間	こうふく寺 (迎福寺) 一丁半廿間	みかとう (美加堂) 二丁半廿間	おかのとう (岡ノ堂) 二丁半二十間	にしのとう (西ノ堂) 六丁半十三間	おふたけ (大竹) 七丁廿七間	しようちう寺 (松虫寺) 四丁半八間	こんけんした (権現下) 七丁半六間	みたとう (弥陀堂) 十三丁半十間

142	80	11	141	65	140	24	139	76	62	138	137	56	136	69	135	66	134
△	第八十番	第十一番	△	第六十五番	△	第廿四番	△	第七十六番	第六十二番	△	△	第五十六番	△	第六十九番	△	第六十六番	△
同	おおは (大廻)	同	つくりや (造谷)	つのだ (角田)	同	同	同	せと (瀬戸)	同	同	同	同	やまた (山田)	同	同	同	同
ねんふつとう (念仏堂) 五丁半二間	おふばさま (大廻様) 二丁廿間	しんじゆいん (真珠院) 十二丁半廿二間	こくぞうとう (虚空藏堂) 三丁半三間	ゑいふく寺 (栄福寺) 九丁三間	同 寺 二十四丁十間	くわんしやういん (願定院) 三丁半七間	つぼのうちとう (坪ノ内堂) 三丁半七間	とくしやういん (徳性院) 五丁半廿七間	さへしやう寺 (西定寺) 十二丁十三間	にしのとう (西ノ堂) 八丁二十三間	はたけなか (畑ケ中) 三丁十間	なかいとう (仲井堂) 二丁六間	めうこういん (明光院) 二丁半十間	くわんおんいん (観音院) 十二丁廿間	みやうおういん (明王院) 十四丁半七間	らいふく寺 (来福寺) 三丁半七間	ちそういん (地藏院) 六丁半七間

79	150	86	74	149	148	147	32	146	145	29	33	144	173	143	09	40	36
第七十九番	△	第八十六番	第七十四番	△	△	△	第卅二番	△	△	第廿九番	第卅三番	△	第十三番	△	第九番	第四十番	第卅六番
同	同 (惣深) そうふけ	同	同	同	同	同	同	同	同 (岩戸) いわと	同	同	同	同	同 (師戸) もろと	同	同 (鎌苅) かまがり	同 (古谷) ふるや
てんおふとう (天王堂) 三十一丁半七間	しものとう (下ノ堂) 二十二丁十四間	いわふとう (岩不動) 二十二丁十一間	せんふく寺 (泉福寺) 五丁廿間	しんとう (新堂) 三丁半	さいふく寺 (西福寺) 二十間	ではりとう (出張堂) 二丁半三間	こうかん寺 (高岩寺) 三十三間	ちぞうとう (地藏堂) 三丁半十間	こうさい寺 (広濟寺) 二丁半廿六間	ちよういん寺 (長円寺) 十五丁半廿三間	こうふく寺 (広福寺) 五丁半廿六間	にうたへとう (西台堂) 三丁十間	しやうのうち (城ノ内) 二丁半廿間	ほりこみとう (堀込堂) 二丁七間	同 寺 十六丁半八間	どうしよう寺 (東祥寺) 十四丁廿四間	どう (古谷堂) 十四丁廿四間

51	158	55	25	58	60	46	157	156	155	50	67	154	153	72	152	34	151
第五十一番	△	第五十五番	第廿五番	第五十八番	第六十番	第四十六番	△	△	△	第五十番	第六十七番	△	△	第七十二番	△	第卅四番	△
同 (安養寺) あんようじ	同	とかみ (戸神)	同	ふなお (船尾)	たゝらた (多々羅田)	同	同	同	同	同	同	まつさき (松崎)	よしした (吉田)	同	同	同	よしした (吉田)
あんよう寺 (安養寺) 十丁半六間	たいしとう (大師堂) 五丁三間	どう (薬師堂) 一丁半十七間	同 寺 七丁廿三間	とうこういん (東光院) 十二丁半	たことう (鳳堂) 六丁二十三間	けちゑん寺 (結縁寺) 六丁二十三間	へたのどう (辺田ノ堂) 半丁十間	よりまさとう (頼政堂) 三十三間	むかいとう (迎堂) 六丁十四間	たもんいん (多聞院) 三丁半三間	ひしやもんとう (毘沙門堂) 六丁半	みやうけん寺 (明源寺) 十三丁半廿三間	かしのたへ (河岸ノ台) 二丁廿間	まんふく寺 (万福寺) 二丁廿間	小どう (小堂) 半丁十七間	じけんじ (慈眼寺) 二十一間	ひかしとう (東堂) 四丁十三間

169	168	167	166	165	164	163	162	161	160	82	42	87	17	27	23	26	10
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	第四十二番	第八十七番	第十七番	第廿七番	第廿六番	第十番
同	同	ひらつか (平塚)	かはらこ (河原子)	同	なうち (名内)	こなうち (古名内)	おりたち (折立)	ところさハ (所沢)	のぐち (野口)	なつぎ (七次)	ほうめ (法目)	ながとろ (長殿)	しろい (白井)	しよば (神々廻)	きよと (清戸)	やた (谷田)	むざい (武西)
ほんごうとう (本郷堂) 一丁半九間	なかたへやくし (中台薬師) 三丁三間	ゑのきあふみち (榎大三叉) 二丁半十間	どう (堂) 十五丁半	のなか (野中) 六丁六間	とうこういん (東光院) 七丁	かへいまへ (嘉兵衛前) 十五丁十三間	らいこう寺 (来迎寺) 十七丁三間	やくしとう (薬師堂) 十一丁三間	ちそうとう (地藏堂) 五丁廿六間	くわんぜういん (観世院) 八丁十間	ぶつほういん (仏法院) 十五丁	くわんおんとう (観音堂) 四丁半六間	ちようらく寺 (長楽寺) 十丁半六間	しんぐう寺 (神宮寺) 六丁半十六間	やくおう寺 (薬王寺) 十二丁十六間	さへふく寺 (西福寺) 二丁半廿三間	くわんおんとう (観音堂) 十五丁十三間

明治四未春
三月 改 新板

12	172	171	88	63	16	170	54
第十二番	△	△	第八十八番	第六十三番	第十六番	△	第五十四番
おぐら (小倉)	かめなり (亀成)	ほつさく新田 (発作)	うらべ (浦部)	しろはた (白幡)	うらべ (浦部)	同	同
ひかりどう (光堂) 十丁半一間	とうこういん (東光院) 五丁六間	さいしよう寺 (最勝寺) 十四丁廿六間	やくしとう (薬師堂) 六丁半六間	きちしやう寺 (吉祥寺) 七丁十間	くわんおん寺 (観音寺) 十七丁十二間	むかへたい (迎台) 六丁廿三間	ゑんめい寺 (延命寺) 六丁廿三間

(斎藤正巳家所蔵文書)